

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	0272000282		
法人名	社会福祉法人 宏仁会		
事業所名	清風荘 グループホーム		
所在地	〒039-3321 青森県東津軽郡平内町大字小湊字薬師堂63-23		
自己評価作成日	平成30年10月10日	評価結果市町村受理日	

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	
----------	--

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	公益社団法人青森県老人福祉協会		
所在地	〒030-0822 青森県青森市中央3丁目20番30号 県民福祉プラザ3階		
訪問調査日	平成30年11月16日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

事業所内は、柱や格子戸等に木を使用し大正ロマンが漂う雰囲気、利用者には和風のぬくもりを感じていただけるような造りになっています。また、生活歴から畑作業をしている方が多く、植え付けから収穫まで利用者と職員が協力して作業しています。収穫した野菜は、どう調理をするか利用者と考え、一緒に調理しています。他に、好きな事・得意な事を活動として提供しています。ご家族の協力も得ながら、馴染の場所への外出の機会を作ったり、誕生会や行事等楽しみをもって過ごして頂けるよう工夫しています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

随所にケアのこだわりが見られ、利用者中心のケアが出来ているのが利用者や職員の表情で伝わってくる。法人のケア理念、事業所のケア理念がきちんと実践されており、教育のシステムもある。日常的に意見を言いやすく、出された意見も反映されやすくなっている。また、職員間で得意、不得意分野があるものお互いに得意分野を伸ばしていけるような関係性ができており、働きやすい環境となっている。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	廊下に事業所の理念を掲示し、利用者のケアを検討していく上で、常に理念を念頭におき、理念に基づいたケアを実践している。	廊下に法人と事業所の理念を掲示している。また、申し送り簿に職員のマニュアルが貼られており、月に一度の勉強会時や年度初めに確認し実践できている。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	法人で開催する行事には、ご家族や運営推進委員の方を招待したり、町の敬老まつりや行事に参加し、地域の人との交流を図っている。	町の行事、公民館の行事の際に外出したり、地域の会合にも参加する事で、地域の方との交流も多く、昔なじみの関係も継続できている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	運営推進会議時、認知症ケアについて支援方法や認知症の方の理解について話し合っている。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	サービス提供や活動報告をし、アドバイスをもらっている。グループホーム農園では、アドバイスだけでなく、畑を耕したりと協力頂いています。	2ヶ月に1回開催しており、認知症に関する研修を内容に盛り込み地域の人も勉強している。また、畑作りについてアドバイスを頂く等、活動に活かしている。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	運営推進会議を通して、出席した町の担当者から意見やアドバイスを頂いている。	運営推進会議に町役場の担当者が毎回出席している為、連携を図る事ができている。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	法人内で身体拘束廃止委員会を設置し、また法人全体の会議内で研修を実施し、さらに事業所にて振り返りをし身体拘束のないケアに取り組んでいる。	法人の各事業所代表からなる委員会を設置し、各々の取り組みを発表し、事業所でも報告している。また、月に一度の法人全体会議の中でも研修を行い、取り組まれている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	法人内の研修実施後、事業所内でも振り返りをし、虐待に対する意識を高め、虐待防止に努めている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	事業所研修にて研修実施し、制度の理解に努めている。現在、制度を活用している利用者はいない。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約に関する説明の際は、管理者・計画作成担当者2名で対応し、本人・家族の意向を確認し不安や疑問がないか確認しながら対応している。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	書類の更新時、また面会時には必ず声を掛け、本人・家族から意見・要望を伺うようにしている。事業所内に意見箱を設置している。	契約時、面会時必ず利用者、家族へ声を掛けている。玄関を入ってすぐの所に意見箱を設置しているが意見が入っている事が少ないため、直接会った時に話せる関係作りに取り組んでいる。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎日の申し送りや事業所会議、伝達簿、人事考課面談時を活用し、職員が意見を出せる機会を設け、業務や個別援助に取り入れ、サービス改善に繋げている。	日々の申し送り時、事業所会議時に意見を聞き出している。出された意見を管理者から経営層へ報告している。業務に関しては、日々チームで考えながら取り組んでいる。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	年に2回、人事考課を実施している。人事考課をもとに管理者と職員が面談し、振り返りと今後のスキルアップについて意思確認を行い、向上心を持って働けるように努めています。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	職員のスキルに合わせ、外部・法人内・毎月事業所内研修に参加している。また、資格取得への支援を実施している。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	外部研修に参加した際、互いの問題や悩みを相談・情報交換し、サービスの質の向上につなげている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居前に施設見学に来て頂き、環境に馴染んで頂けるようにしている。不安な事や要望等をゆっくり伺いながら、ケアプランに繋げ、職員が統一した対応が出来るようにしている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	契約時、不安な事や要望等を伺い、安心してもらえるよう説明している。また、入居してすぐの時は電話連絡にて様子をお伝えし、面会時には気になる事はないか伺い不安の解消に努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	本人や家族の意向を伺ったり、アセスメントをしながら、必要な支援の提案やサービス利用の調整などを担当ケアマネと連携しながら対応に努めている。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	人生の先輩として話を伺ったり、教えて頂きながら畑作業や調理、掃除などを一緒に行っている。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	事業所新聞や毎月、利用者の写真をご家族へ送付しています。また、面会時や必要時には随時家族へ電話連絡にて近況や意向の確認をしている。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	利用者の要望も伺いながら、職員と共に自宅訪問、地元をドライブしたりしている。地域の行事へも参加し顔馴染みの人と交流している。また、家族と共に馴染みの場所へ外出できるよう支援している。	行事に出かけた際は、馴染みの人との交流がある。また、家族の面会時や家族と通院する際、馴染みの場所へ寄る等しており、関係性の継続が図れている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者同士の関係性を見ながら、職員が間に入ったり、娯楽室や食堂の座る場所や設えの工夫をしている。また、全利用者参加できる活動や行事で、利用者間の交流が深まるよう努めている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	サービス終了後も、家族へ相談に応じる事が出来る事を伝えている。また、物故者追悼法要を開催し、家族との思い出話や近況を伺ったりと交流する機会を設けている。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	個別に話をする機会を設け、意向の把握をしている。また、生活歴や日常の会話から意向をくみ取りその人らしい生活出来るよう努めている。	カンファレンスの前等、1対1になった時に話しやすい環境作りを行い、気持ちの汲み取りを行っている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	本人・家族、また今まで関わってきた関係機関からも情報を得よう努めている。情報は、フェースシートへまとめている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	個別にアセスメントし一人ひとりの生活リズムを把握。また、日々の変化や気づきは申し送り時や申し送り簿を活用し把握に努めている。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	介護計画は、本人・家族の意向を踏まえ、また利用者の状態に合わせて作成している。毎月モニタリング実施と、変化時は都度カンファレンス開催し見直ししています。	本人や家族の意向を確認しつつ、カンファレンスを開催し、チームで計画書を作成している。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々のケアの記録は個別のケースへ記録し、申し送りや申し送り簿を活用し職員間で情報共有している。必要に応じて、カンファレンス開催し、介護計画の見直しをしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	家族・本人と相談しながら、必要に応じ、職員間で協力し、柔軟に対応できるようにしている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	利用者の要望を取り入れ、買い物や地域の行事へ参加できるよう支援している。町の広報誌を活用し年間行事を把握している。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人・家族の希望に沿ったかかりつけ医となっている。また受診の必要時、受診結果については、都度家族へ相談・報告をしています。	本人、家族の希望でかかりつけ医を決めている。家族が受診介助をする事もあるが、職員が受診する際は随時家族やかかりつけ医と連絡を取り合っている。	
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	訪問看護ステーションと医療連携体制をとっている。週1回の訪問と気になる利用者については都度相談し、また受診後の報告をし、対応について指示もらっている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時は、利用者情報を病院に提供しています。退院前には、事前に病院から入院中の情報を頂き、連携をとっている。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入居時の契約時点、看取りの説明をしている。利用者の状態変化や重度化等、その都度、現状説明し利用者がどこで生活するのが安楽なのか話し合いをしている。	入居時に指針を説明し、看取りができる事を説明している。住み慣れた場で最期を迎える事ができるように家族とも十分に話し合い、意向を確認しながら取り組んでいる。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	急変時や事故発生時の研修をマニュアルを基に開催している。また、緊急時の連絡経路の確認も実施。研修後は、振り返りし、実践力の習得に努めている。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	法人内に防災委員会が設置され、併設事業所と合同訓練を実施。また、参集訓練実施し、災害時に協力を得られる体制になっている。	法人内に委員会あり、併設事業所と合同で火災についての訓練を実施している。地震については、事業所内で勉強会を開催し、停電になった際の対応等を学んでいる。また、法人で食料の備蓄もある。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	法人内の全体会議、事業所内研修でプライバシー保護や尊厳と倫理の研修を実施。振り返りし、事業所でのマニュアル作成して尊厳やプライバシーに配慮した対応をしている。	法人全体の研修や、勉強会にて学んでいる。排泄時の配慮や、普段の言葉使いも依頼形を基本とし、自己決定を促している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	個別に話し合える機会を設け、利用者が希望を言えるようにしている。また、遠慮しない様に配慮している。また、日常の中でも利用者が選択できる様な声かけをしている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	日常生活において、常に利用者に伺いを立てながら本人のペースに合わせて対応しています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	利用者の要望に合わせ、毛染めやパーマも実施している。また、利用者が好みの服を選べるよう買い物外出も企画し支援している。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者と職員と一緒に、食材を切ったり配膳したりしている。また、食後の食器拭きやテーブル拭き、米研ぎ等も行っている。	味噌汁作りを当番制にし役割作りをしている。行事の中に食事会があり、調理や盛り付けをしている。また、職員も利用者から教わる姿勢で関わっている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	個別で食事・水分摂取量、体重の記録をとり把握している。状態に応じて、栄養補助食品や本人の好きな物などを提供している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、義歯洗浄・うがいの声かけしている。不十分な所は職員が援助。毎就寝前に義歯洗浄剤使用している。また、口腔状態に応じて道具の選択をしている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄パターンのアセスメントを行い、個別の声掛けや排泄用品の選択をし、トイレでの排泄を中心に支援している。	トイレで排泄する事を目標におむつを使わなくても済むような工夫をしている。個人の排泄パターンを把握したり行動に合わせて誘導し、排泄用品も工夫しており、変化に気付けるように観察が出来ている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	日課の体操の他、バランスボールでの運動やマッサージ、園内散歩などの運動を取り入れ、便秘予防に努めている。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた支援をしている	入浴時間やお湯の温度は本人の好みに合わせて対応。入浴は、1対1でコミュニケーションをとりながら、ゆったりと入浴出来るようにしている。入浴を拒む方へは、声かけの工夫や入浴日の変更をしている。	本人の希望を聴きながらタイミングを合わせて対応している。入浴時は1対1になる為、普段できない会話をする等心掛けている。お湯の温度も一人一人に合わせて対応している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	夜間の睡眠状況や本人状態に応じて、日中居室で休んで頂くようにしている。眠りに繋がるよう日中活動を提供し、就寝時間もその人のペースに合わせている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬の処方箋はファイルに綴じ、いつでも確認できるようにしている。朝・昼・夕と色分けし、職員間で声を出し確認し誤薬のないよう服薬支援している。変化時は、訪問看護やかかりつけ医へ相談している。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	利用者の生活歴から、畑仕事や食器拭き、米研ぎなど本人の出来る事をして頂いている。また、利用者と相談しながら買い物やドライブなどに出掛け、気分転換を図っている。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるよう支援している	利用者からの要望時、買い物やドライブなどの外出支援をしている。また、家族へも協力頂き、家族との外出や帰省を支援している。	アセスメントをして本人の意向を確認しながら外出支援をしている。家族へ協力を仰いだりし、その人にあった店を選ぶ等、買い物にも出かけている。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	現在なし。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	家族に電話したいと要望があれば、対応している。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	園内の灯りを暖かみのあるものにし、視界からの刺激を与えないようにしている。また、季節ごと飾り付けをし季節感を感じてもらえるよう工夫している。また、食事の時は、心地よい音楽を流している。	音や灯りに工夫しており、心地良く安心できる空間作りができています。また、温度も暖かく感じられるように調整している。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	廊下にもベンチを設置し、好きな時に好きな場所で過ごせるよう工夫している。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	自宅で使っていた愛着のあるもの(布団・タンス・机・仏壇・写真・置物等)を持ってきて頂き、本人と相談しながら配置している。	自宅の雰囲気を出せるように入居時に相談している。使い慣れたものを持参していただき、本人にとって居心地の良い空間作りができています。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	居室には、利用者の目線に合わせて表札を設置。廊下やトイレ、玄関に手すりが設置され、残存機能を生かして生活できるようにしている。また、居室の小上がりも段差を軽減する為、踏み台を設置している。		